



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆50年以上前の年末年始 我が家では…◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの大森です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、この原稿を書いておりますのは、年明けまで2週間を切った12月18日です。神奈中情報通信をご購読のみなさん、今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。毎年のことではありますが、今年も一年、あっという間だったなあと感じております。気がつけばもう目の前に来ている年末年始について、最近は何歳をとったせいか、昔のことをよく思い出します。

小学生のときのこと、私は岡山の田舎育ちで、年末と言ったら家族総出の大掃除で、2週間くらいかけて行っていました。と言いますのも、田舎で家の敷地が広く、明治初期ぐらいにできた旧家で、母屋と離れ、納屋に蔵と、家の敷地内に建物が6つも7つもありました。その中と外の掃除をしたり、瓦も長いほうきで埃を取ったり、まさに大掃除です。車も乗用車もあれば、家の農機具を乗せる軽トラもあり、そういった車の掃除もしていました。

最近では、藁で作るお飾りを家につけているところをあまり見かけませんが、そのお飾りも父親が作り、それぞれの建物につけ、お仏壇に供え、お墓にもつけ、そのお墓に持って行ったときにお墓の掃除もしていました。

また、餅つきもしていました。家には杵と臼が2セットあり、古い台所の竈で餅米を炊きあげ、家の外の庭に持ってきて父親と母親があうんの呼吸でつき、そのついた餅を我々子どもが食べられる大きさにちぎって丸めます。当時は、自分も大人にな

ったら餅つきがしたいなあと思っていましたが、今は普通にお店で売っていて、それを買うようになってしまいました。

それが終わると、年末年始の買い物に行き、母親がおせち料理に取りかかり、その間、私は父親と二人で街中（2枚目へ→）



(続き→) に出て映画館に行き『男はつらいよ』シリーズを見るのが恒例でした。

その後、家に帰るとおせち作りもひと段落していて、居間に全員で集まり、レコード大賞、紅白歌合戦を見る流れ。12時にNHKで除夜の鐘を聞き「おめでとうございます」と言って寝る。それが、私の子ども時代の年末の風景でした。

年が明けると、朝7時か8時に起きて家族そろってお雑煮を食べ、お年玉をもらって地元のお宮に参り、それが終わると車に乗って街中の大きな神社に行き参拝。そこに出ているテキ屋さんで買ったこ焼きがいつも楽しみでした。

家に帰ると今度は書き初め。やりたいわけではなかったのですが、母親が書道の師範の免許を持っていた関係で毎年書かされ、それが終わる頃になると夕飯で、おせちとお雑煮というお正月でした。

実際にはもう50年以上前の話で、だいぶ忘れかけていますが、サザエさんや昭和時代の映画などで当時のお正月の場面が出ると、いろいろ思い出、懐かしく思います。私ももう63歳です。当時のこういった話が合う人も少なくなってきたことを感じております。というわけで、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆発行者コラム◆

今年のお正月、奮発してうちの会社のグループのホテルが販売している3段重ねのおせちを予約。ただ、どう見ても私と妻の2人で食べ切れそうになく、そこで、外で一人暮らしをしている息子に電話。帰ってこいと伝えました。息子はテレビ関係の仕事で忙しく、12月30、31日だったら帰れるとのこと。ただ、今回予約したおせちが家に30日の午後に冷凍で届くもの。そこから35時間の自然解凍でお正月の朝に食べられるように計算されています。ということは、帰ってくる息子は食べずにまた自分の家に戻るとのこと。息子にはそのことを伝えておりません。3段重ねのおせち、どうやって食べ切ろうか、妻と2人で頭を悩ませております。大森

■この通信がご不要の方は1枚目にお名前ご記載の上、FAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

 株式会社
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート!

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム

